

首都圏段戸会会報

平成13年10月
第12号

同窓会を楽しみに



会長
服部 登
(高2回)

首都圏段戸会も今年は二十九回の開催になります。昭和四十七年同郷の有志が互いに呼びかけ学



士会館で開催されて以来、先輩諸兄のご協力をいただき、又準備事務局の陰の努力のおかげで、今日まで中断する事無く開催してきました。ここ数年は各卒業年次の世話人も方も参画していただき、漸く首都圏在住の卒業生の名簿作成等ネットワークの構築と、年次に拘らない人脈作りと、楽しい集まりにしたいとの思いから、昨年から新しく趣味のグループ別の懇談タイムを設ける等、如何にしたらもっと多くの方に参加していただけるかと、世話人の方々にお骨折りを頂き今年も開催することが出来ました。今年はずいぶんアで開催されたコーラスオリピックにて一般

コーラス部門で金メダルを獲得された、先生と部員の方々をお招きしてコーラスの発表をして頂く時間も設けてあります。

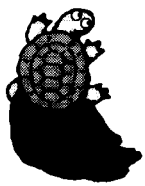
平成に年号が変わってからの十年間は、バブル経済の崩壊、不良債権の発生、経済・情報のグローバル化の波に呑み込まれ、最近の話題は戦後五十年間の政策見直し、変換を要求され、小泉内閣が圧倒的支持を得て誕生、聖域なき構造改革に乗り出しています。

大手企業のリストラ、雇用不安、少子高齢化等、問題は山積しています。このような時代だけに、青春時代が同じ環境で育った岡中・岡高卒業生の同窓会開催はそれなりに意義があると思います。ジェネレーションギャップがあるにせよ、先輩後輩の壁を越えて語り合う楽しい時間にならんと願っています。

ロシアの文豪トルストイは「戦争と平和」の中で、「一切の不幸せは、貧しさから、不足から（物が足りないから）生ずるのではない。あり余るところから生ずるのだ」と言い残しております。まさに、今の日本はそのとおりの国になってしまいました。物が有り余るがゆえに不幸になったと思えます。物が豊かになるにしたがって、

欲望もまた次々と膨らんでいくからです。日本のこの豊かさが本当の幸せと結びついてほしいのです。その為には、制度を変えるとか、一人ひとりの心のあり方、心の持ち方を変えることで充分だと思えます。

そこで、発想を変えてみてはどうでしょうか。段戸会には今まで一回も参加しなかったから、出席しても知らない人ばかりではないか、と逡巡しないで参加してください。必ず新しい出会いと発見があります。人と人のつながりで社会が出来ています。一人でも友人が増えれば人生は変わります。その一助になればと念願しています。多数の方の参加をお待ちしています。



お願い

会の運営に ご参画下さい

本年度は、左記の皆様のお世話によって、首都圏段戸会開催にこぎつけました。

ご覧の通り、若い人達の参画が望まれますので、会の運営にご協力いただける方は、岡崎市東京事務所内首都圏段戸会事務局あて、ご一報下さるようお願いいたします。

電話〇三(五二一一)五五三三

首都圏段戸会世話人

- (高2回) 服部 登
- (高3回) 木村 博
- 鍋木 道子
- (高4回) 太田 工
- 柴崎美津子
- (高5回) 杉浦 郁子
- (高6回) 有馬 弘政
- (高7回) 河井 学
- (高8回) 梅村 勝
- (高9回) 小島 郁夫
- (高11回) 稲垣 孝
- (高12回) 鶴田 文男
- (高13回) 柴田 一男
- (高14回) 水谷 鏡子
- (高15回) 満江 信之
- (高17回) 中村 宏行
- (高19回) 岡部 芳郎
- (高20回) 辻村 貴典
- (高22回) 青山 裕治
- 上田 洋子
- (高23回) 高橋 俊光
- (高25回) 内田 寛
- (高26回) 中根 伸二
- (高29回) 鬼沢 敬子
- (高30回) 米津 智徳
- (高33回) 宮川 真一
- 豊田キミイ
- 村木 央明
- 山本 良二
- 榊原 誠
- 永井 寛
- 安藤 町子
- 小六 要子
- 齊藤 悦子
- 三島 元
- 中根 淳
- 成瀬 徹
- 藤田 訓弘
- 丹羽 鼎

平成十二年度(第二十八回) 首都圏段戸会報告

九月二十四日の朝は、オリンピックの女子マラソンでスタート。高橋尚子選手の優勝の興奮もさめやらないまま、メルパルク東京に集まった130人余りの笑顔とともに、平成十二年度首都圏段戸会の幕が開きました。

中村氏(高17回)の司会による開会のことは始まり、服部会長(高2回)から「女子マラソンの金メダルもうれしいが、わが母校もこの七月に、第一回合唱オリピックで金メダルをもらいまし



たよ。」との開会挨拶。続いて総会議事に入り、木村副会長(高3回)の進行により、昨年度の会計報告・監査報告、会則の一部改訂の提案、改選役員の推薦(全員留任)がなされ、参加者全員の賛同を得ました。

岡崎から3年連続ご出席の杉浦同窓会会長より、「岡崎を離れている首都圏の皆さんの、岡崎に対する強い思いを感じます。あわせて、母校の在校生とのつながりもよろしく願います。」との来賓ご挨拶を。また、四月より母校にご赴任の金丸校長から、「コーラス部が頂いた愛知県知事の特別表

彰は、伊藤みどり選手、イチロー選手、金さん銀さんに並ぶものです。」との部活動報告や、進学状況等も織り交ぜたご挨拶をいただきました。

設けられ、同期のみならず、学年を超えた歓談の輪が広がりました。ステージでは、同年ごとの記念撮影や、岡高の歴史のスライド上映がなされました。予定の二時間半はたちまちのうちに過ぎ、恒例のフィナーレとして、酒井氏(高28回)のエールと共に全員による校歌斉唱を迎えました。

最後に、木村副会長からの「今後ともヨコだけでなくタテへのつながりを広げていきましょう。来年もこの場に元気なお顔で集まってください。」との閉会の挨拶で幕が閉じられました。(高22回 青山裕治)

首都圏段戸会出席者

平成十二年度

- (高44回) 豊田俊雄
- (中50回) 越山 悟 富国重道
- (高1回) 安藤紫郎 玉腰眺也
- 成瀬英俊
- (高2回) 服部 登
- (高3回) 木村 博 清水哲夫
- 鈴木俊幸 高木次男
- 丹羽 鼎 蜂須賀芳昭
- 米津勇美 伊藤芳枝
- 鈴木道子 鴨下敦子
- 松井淳子 柳沢玖枝
- (高4回) 太田 工 成瀬榮二
- 安藤町子 柴崎美津子
- (高5回) 杉浦郁子
- (高6回) 小六要子
- (高7回) 河井 学 杉山 修
- 村田興市 斎藤悦子
- 高橋理恵子
- (高8回) 伊野三之 大矢一夫
- 杉本和彦 三島 元
- (高9回) 香村時良 小島郁夫
- 勝田あや子 小山孝子
- 近藤和佳子 斎藤聖子
- 高木治子 林 宏子
- (高11回) 芦沢紘一 清水豊夫
- 杉山樹三郎 中根 淳
- 服部豊治 中村よし子
- (第12回) 鶴飼道孝 関根 茂
- 鶴田文男 内藤雅彦
- 成瀬 徹 稲垣早苗
- (高13回) 新井康夫 河野 紘
- 柴田一男 神道千秋
- 鈴木功一 鈴木昭二
- 原田 忠 藤田訓弘
- 本多正之 村木克好
- 森 美鎮子
- (高14回) 阿部完二 磯尾 進
- 太田真澄 笠原 紘
- 糸田輝義 斉藤幸夫
- 清水拓夫 矢野道明
- 諫山久美子 磯村澄江
- 大館真弓 長井左紀子
- 中島綾子 橋本雅子
- 水谷鏡子
- (高15回) 太田征男 満江信之
- (高16回) 大山達雄
- (高17回) 斉藤秀晴 中村宏行
- 青木美代子 佐伯寛子
- 豊田キミイ 山田博子
- (高19回) 岡部芳郎 香村幸夫
- 近藤陽一 高橋伸芳
- 野口健一 松本民雄
- 村木央明
- (高20回) 天野隆太郎 北野光敏
- 小林克正 辻村貴典
- 山本良二 齐木令子

平成12年度会計報告

〈単位：円〉 平成13年 3月

科 目	収入の部	支出の部
前 期 繰 越 金 等	700,038	
運 営 費	477,820	
合 計	1,018,348	
総 会 経 費 等		1,229,125
印 刷 信 費		348,129
通 期 繰 越 金		143,545
合 計		475,407
合 計	2,196,206	2,196,206

- (高22回) 原 啓子
- 青山裕治 齐藤光保
- 神原 誠 佐々木秀敏
- 新庄弘之 杉浦一孝
- 中村賢治 上田洋子
- 大林真智子 近藤純子
- 酒井真知子 鈴木裕美子
- 丸山佳世子
- (高23回) 高橋俊光 永井 寛
- (高25回) 内田 寛
- (高26回) 中根伸二
- (高27回) 池田一三
- (高28回) 太田也寸志 三枝奈芳紀
- 酒井邦彦
- (高29回) 鬼澤敬子
- (高30回) 岡本和也 米津智徳
- (高33回) 笹浦正弘 宮川真一
- (高34回) 内藤正光
- (高46回) 竹内達也